

神戸市地球温暖化防止実行計画の改定について

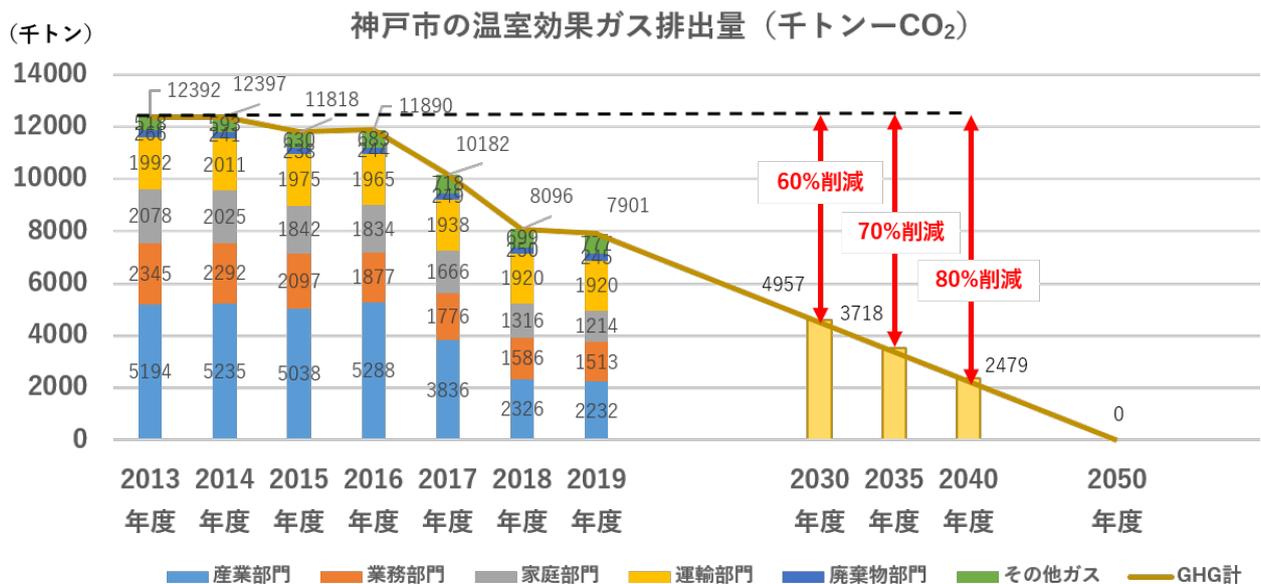
神戸市は、2050 年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指すため「神戸市地球温暖化防止実行計画」を改定する。改定にあたっては、国の地球温暖化対策計画での目標設定を踏まえ、新たに 2035、2040 年度の温室効果ガス削減量・再エネ導入量目標を設定し、削減量目標に対する削減見込量を提示する。

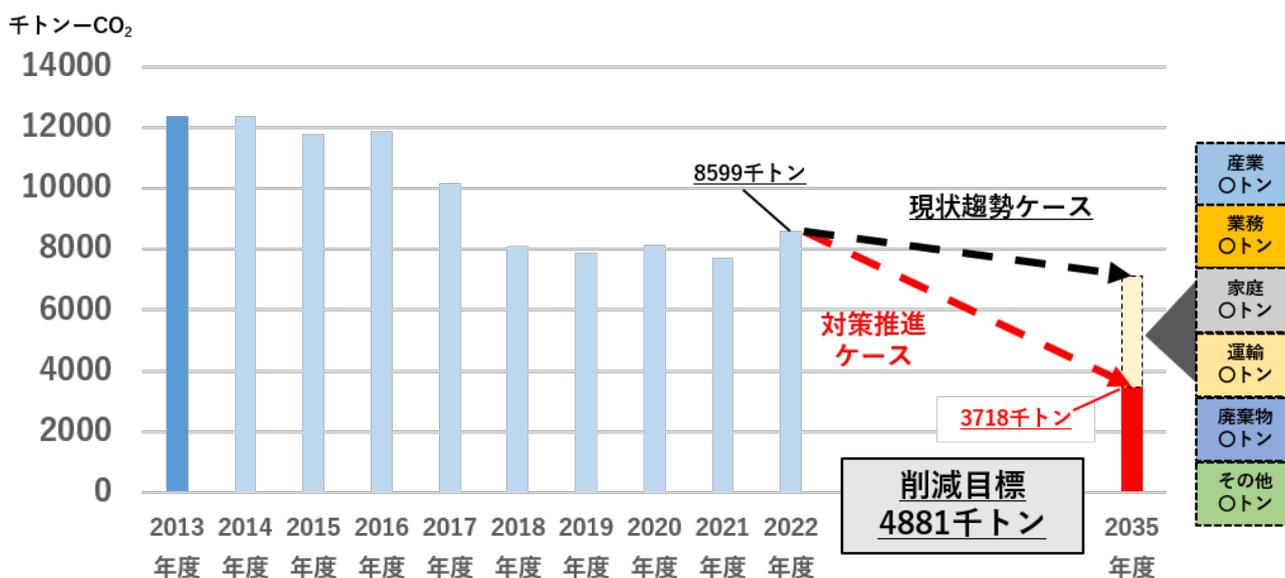
これにより 2030 年度目標の達成に向けた対策を継続・強化することはもとより、政策の継続性・予見性を高め、脱炭素に向けた取組・投資やイノベーションを加速させ、排出削減と経済成長の同時実現に資する地球温暖化対策を推進していく。

目標：①神戸市域全体の温室効果ガス削減量

目標設定の考え方：神戸市では、2050 年度温室効果ガス排出量ゼロから、2019 年度実績を起点としてバックキャストにより 2030 年度 60%削減を目標としている。新たに、国の温対計画と整合的で、2050 年度温室効果ガス排出実質ゼロの実現に向けた直線的な経路にある野心的な目標として、2035、2040 年度に、温室効果ガスを 2013 年度からそれぞれ 70%、80%削減することを目指す。目標設定にあたっては、神戸市域の現況を踏まえフォアキャストにより現状趨勢ケースに対して対策推進ケースにおける部門ごとの削減見込量や各部門での具体的な施策を積み上げていく。

- 案 2035 年度温室効果ガス排出量 2013 年度比 70%削減
- 2040 年度温室効果ガス排出量 2013 年度比 80%削減





<家庭部門> 施策例

省エネ 新築/既存住宅の省エネ化（断熱性能向上、LED 照明、高効率給湯器の普及等）

削減見込量 △△万トン

再エネ 再エネ 100%電気への切替（全世帯の 1 割）

削減見込量 ××万トン

目標: ②神戸市域全体の再生可能エネルギー導入量

目標設定の考え方: 神戸市域全体の再生可能エネルギー導入量 2030 年度において 2019 年度比の約 2 倍である 500MW を目標としている。国の第 7 次エネルギー基本計画も踏まえ、将来の再生可能エネルギー導入量を見積もる際に脱炭素化技術の動向・進展可能性等に応じた複数のシナリオを想定して将来推計し、2035 年度、2040 年度の目標を新たに設定する。